



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年6月27日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績（平成24年2月16日～平成24年5月15日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	22,712	12.3	△26	—	3	—	△163	—
24年2月期第1四半期	20,220	△0.9	△158	—	△157	—	△311	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 △137百万円 (—%) 24年2月期第1四半期 △471百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	△2.92	—
24年2月期第1四半期	△5.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	53,671	24,298	45.3	435.15
24年2月期	54,344	24,883	45.8	445.62

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 24,298百万円 24年2月期 24,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	—	—	8.00	8.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年2月16日～平成25年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	12.6	300	—	350	—	150	—	2.69
通期	93,000	6.3	1,600	31.6	1,700	28.2	940	55.6	16.83

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 平成25年2月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については12.5ヶ月（平成24年2月16日～平成25年2月28日）の予想数値を記載しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期1Q	59,948,294株	24年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	4,109,770株	24年2月期	4,108,553株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期1Q	55,839,063株	24年2月期1Q	55,843,393株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況	10
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	20,220	22,712	2,491	12.3
営業利益又は営業損失(△)	△158	△26	131	—
経常利益又は経常損失(△)	△157	3	161	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△311	△163	148	—

当第1四半期連結累計期間（平成24年2月16日～平成24年5月15日）のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にありましたが、欧州をはじめとする海外経済の減速傾向や電力供給問題、円高の影響もあり、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、市場の変化への対応力を強化するなど、経営目標である「選ばれるノムラ」の実現に向け事業活動を展開した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は227億12百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

また、利益面におきましては、受注競争激化の影響を受けたものの売上高の増加にともない、営業損失は26百万円（前年同期は営業損失1億58百万円）、経常利益は3百万円（前年同期は経常損失1億57百万円）、四半期純損失は1億63百万円（前年同期は四半期純損失3億11百万円）と、いずれも前年同期より収支が改善いたしました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

都内において大型商業施設の開業が相次いだほか、新たに開通した高速道路のサービスエリアなど、店舗内装や環境演出を数多く手掛けました。また、前年同期には大型文化施設の売上を計上した博物館・美術館市場では、指定管理者制度^(注)にもとづく施設運営を含め、全国の文化施設等の管理・運営業務を多数手掛けました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は223億29百万円（前年同期比12.5%増）となりました。利益面につきましては、受注競争激化等の影響を受けたものの、売上高の増加に加え販売費及び一般管理費の抑制に努め、営業損失45百万円（前年同期は営業損失1億71百万円）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	海外・国内のアパレルブランドショップや宝飾店舗の内装制作等	7,374	9,198	1,824	24.7
百貨店・量販店市場	首都圏や近畿圏の百貨店におけるリニューアル等	1,976	1,072	△904	△45.7
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	都内に開業した大型商業施設や空港内の商業施設、高速道路のサービスエリアにおける空間演出等	1,122	2,699	1,576	140.4
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	自動車や住宅設備関連企業のショールームの展示制作等	2,809	2,629	△180	△6.4
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	「川崎市青少年科学館」の展示制作や指定管理者制度にもとづく施設の管理・運営等	5,405	2,714	△2,691	△49.8
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	国際展開するホテルの内装制作や水族館、アミューズメント施設の展示演出等	275	1,541	1,265	459.1
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	65	290	224	342.3
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	オフィスの環境演出やサイン工事、大型モニュメントの制作等	824	2,184	1,359	164.8
ディスプレイ事業		19,854	22,329	2,475	12.5

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②不動産事業

所有する不動産における賃料収入などにより、売上高は1億13百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益は38百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

③飲食・物販事業

本年4月、浅草寺の雷門前に東京スカイツリーを見渡せるカフェ「みはらしや」（東京都台東区）を新規開業したほか、「江戸東京博物館ミュージアムショップ」（東京都墨田区）などの既存飲食・物販店の運営業務を手掛け、売上高は2億70百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は536億71百万円(前連結会計年度末比6億73百万円減)、負債は293億73百万円(前連結会計年度末比88百万円減)、純資産は242億98百万円(前連結会計年度末比5億84百万円減)となりました。

総資産は完了間際の大型物件があるためにたな卸資産が増加するとともに、債権の回収により現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が大幅に減少しております。

負債は借入金が増加しましたが、期末月の仕入れの減少にともない支払手形及び買掛金が大幅に減少しております。

純資産は配当金の支払いと四半期純損失の計上により利益剰余金が減少しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.8%から45.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月28日発表の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	411	4,195
受取手形及び売掛金	20,850	15,488
有価証券	26	26
たな卸資産	8,277	9,581
繰延税金資産	860	843
その他	1,033	754
貸倒引当金	△62	△46
流動資産合計	31,398	30,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,480	12,496
土地	10,078	10,078
その他	1,639	1,634
減価償却累計額	△6,155	△6,263
有形固定資産合計	18,042	17,945
無形固定資産	505	512
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050	2,116
その他	2,785	2,676
貸倒引当金	△438	△424
投資その他の資産合計	4,398	4,369
固定資産合計	22,946	22,828
資産合計	54,344	53,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,977	14,848
短期借入金	1,224	1,893
未払法人税等	491	84
前受金	2,377	2,610
賞与引当金	934	1,345
工事損失引当金	350	516
環境対策引当金	100	100
その他の引当金	74	73
その他	2,070	2,032
流動負債合計	23,601	23,504
固定負債		
退職給付引当金	4,322	4,295
その他の引当金	180	186
その他	1,356	1,386
固定負債合計	5,860	5,868
負債合計	29,461	29,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	12,438	11,828
自己株式	△913	△913
株主資本合計	24,884	24,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△267	△252
土地再評価差額金	287	287
為替換算調整勘定	△22	△11
その他の包括利益累計額合計	△1	24
純資産合計	24,883	24,298
負債純資産合計	54,344	53,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)
売上高	20,220	22,712
売上原価	17,699	20,104
売上総利益	2,521	2,608
販売費及び一般管理費	2,680	2,635
営業損失(△)	△158	△26
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	1
仕入割引	17	20
その他	10	14
営業外収益合計	32	38
営業外費用		
支払利息	2	4
複合金融商品評価損	6	1
投資不動産管理費用	1	1
賃貸費用	18	—
その他	1	0
営業外費用合計	31	8
経常利益又は経常損失(△)	△157	3
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	32	—
新株予約権戻入益	0	—
受取保険金	228	—
特別利益合計	262	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
投資有価証券評価損	—	58
ゴルフ会員権評価損	4	1
役員退職慰労金	135	—
社葬費用	61	—
過年度給料手当	163	—
災害による損失	54	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	—
特別損失合計	433	61
税金等調整前四半期純損失(△)	△328	△57
法人税等	△17	105
四半期純損失(△)	△311	△163

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)
四半期純損失(△)	△311	△163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	14
為替換算調整勘定	7	10
その他の包括利益合計	△160	25
四半期包括利益	△471	△137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△471	△137

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,854	120	246	20,220	—	20,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	1	7	13	△13	—
計	19,858	122	253	20,234	△13	20,220
セグメント利益又は 損失(△)	△171	43	△11	△139	△19	△158

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△19百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,329	113	270	22,712	—	22,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	1	4	22	△22	—
計	22,346	115	274	22,735	△22	22,712
セグメント利益又は 損失(△)	△45	38	1	△6	△20	△26

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△20百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	8,051	10,303
百貨店・量販店市場	2,000	1,678
複合商業施設市場	2,035	2,459
広報・販売促進市場	3,925	3,313
博物館・美術館市場	3,250	1,862
余暇施設市場	1,006	1,779
博覧会・イベント市場	130	214
その他市場	1,288	1,959
ディスプレイ事業 小計	21,688	23,572
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	21,688	23,572

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	7,131	4,503	8,577	7,057
百貨店・量販店市場	1,993	845	2,083	1,750
複合商業施設市場	1,182	5,313	1,438	2,175
広報・販売促進市場	2,321	2,848	4,507	5,418
博物館・美術館市場	1,304	2,299	2,148	3,088
余暇施設市場	1,117	1,881	821	1,270
博覧会・イベント市場	181	262	384	468
その他市場	1,705	2,968	1,458	4,105
ディスプレイ事業 小計	16,939	20,923	21,419	25,334
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	16,939	20,923	21,419	25,334

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	7,374	9,198
百貨店・量販店市場	1,976	1,072
複合商業施設市場	1,122	2,699
広報・販売促進市場	2,809	2,629
博物館・美術館市場	5,405	2,714
余暇施設市場	275	1,541
博覧会・イベント市場	65	290
その他市場	824	2,184
ディスプレイ事業 小計	19,854	22,329
(不動産事業)	120	113
(飲食・物販事業)	246	270
合計	20,220	22,712

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	7,035	8,752
展示制作	7,063	5,297
環境演出制作	1,081	1,899
販促品制作	350	210
企画・設計・監理	1,644	2,594
その他	4,513	4,817
ディスプレイ事業 小計	21,688	23,572
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	21,688	23,572

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	6,134	6,834	6,548	6,976
展示制作	3,518	4,857	5,578	6,841
環境演出制作	760	1,461	966	1,493
販促品制作	234	87	235	117
企画・設計・監理	1,741	2,681	2,538	5,475
その他	4,550	5,000	5,551	4,430
ディスプレイ事業 小計	16,939	20,923	21,419	25,334
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	16,939	20,923	21,419	25,334

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年5月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	5,900	7,866
展示制作	6,905	4,824
環境演出制作	659	2,158
販促品制作	296	178
企画・設計・監理	1,387	1,589
その他	4,704	5,712
ディスプレイ事業 小計	19,854	22,329
(不動産事業)	120	113
(飲食・物販事業)	246	270
合計	20,220	22,712

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。